



# 紫雲児の心

4月7日(金)には、午前には新任式・始業式、午後には57名の新入生を迎えて入学式を行い、全校生徒157名で、紫雲寺中学校の令和5年度がスタートしました。入学式の式辞では、新入生に、以下の3つのお願いをしました。在校生にも、始業式で同様の話をしました。

紫雲寺中学校では、互いを認め合い、一人一人の生徒が自分のよさを生かして全体に貢献し、自分らしくそれぞれの色で輝きつつも、個々がバラバラでなく、全体として調和のとれた美しい虹のような集団を目指しています。

今年度も引き続き、保護者・地域の皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

## 入学式の式辞から (抜粋)

校長 五十嵐 めぐみ

今日から中学生になった皆さんにお願いしたいことの1つめは、「命を大事にしてください」です。世の中で、一番大事なものは命です。自分の命も、他人の命も、大事にしてください。「命を大事にする」とは、その人の気持ちを大事にすることでもあります。相手の気持ちを考えた言動が大切です。世の中には、いじめが原因で命を落としてしまった人もいます。自分がいじめをしないことはもちろん、いじめを許さず、見逃さないことが、みんなのかけがえのない命を守ることに繋がります。

お願いの2つめは、「失敗を恐れず、いろいろなことに挑戦してください」です。中学校生活は、小学校の半分の3年間しかありません。しかし、この3年間は、心も体も大きく成長する、人の一生のうちで最も中身の濃い3年間です。この時期に、いろいろなことに挑戦してください。失敗してもかまいません。「失敗は成功のもと」です。人は、失敗から多くのことを学びます。失敗した時こそ、自分を見つめ直し、もっと良い自分になれるチャンスです。失敗から学び、より良い自分になれるように努力してください。

3つめのお願いは、「人とかかわりを大切にしてください」です。人は、人として生まれ、人の間で「人間」として成長します。仲間と意見を交わす中で、新たな視点に気づき、視野が広がります。人によって考え方や感じ方は違いますから、一緒に活動していくためには、相手の気持ちを考える必要があります。いろいろな人とかかわりながら一緒に活動することを通して、人を思いやることができる人になれる。

人は誰でも、得意なことも苦手なこともあります。自分の得意を生かして、人の役に立てる人になってください。誰かの役に立って喜んでもらえると、人は喜びを感じ、自信がつき、意欲が高まります。その結果、様々なことに挑戦することができ、充実した人生を送れるのです。

一人一人が、自分のよさ・自分らしさを発揮し、それぞれの色で輝きつつ、全体として調和した美しい虹のような学校を、みんなで創っていきましょう。